

## 大阪府立大学「人工光合成研究拠点」国際研究拠点への第一歩！

大阪府立大学人工光合成研究センターは2016年4月から6年間文部科学省共同利用・共同研究拠点として認定されると同時に、最初の3年間は特色ある共同研究拠点の整備の推進事業(スタートアップ支援)に採択され、研究拠点としての活動を推進してきました。人工光合成研究拠点として活動するにあたり、半数以上を学外研究者とする拠点運営委員会が組織されており、公募型の共同利用・共同研究課題選定にも学外委員の意見を取り入れております。2019年3月末をもって特色ある共同研究拠点の整備の推進事業は終了し、4月からは6年間の認定期間の後半に入ります。これまで、主に国内の研究者との共同利用・共同研究を中心に拠点活動を推進してきましたが、今後は国際共同研究拠点としての機能を強化する方針です。その第一歩として、拠点運営委員会に新たに6名の外国人研究者を加え、本拠点活動を国際的に評価する試みです。外国人拠点運営委員を紹介します。

Professor Michael R. Wasielewski (Northwestern University)

Professor Etsuko Fujita (Brookhaven National Laboratory)

Professor Chia-Wen (Kevin) Wu (National Taiwan University)

Professor Sibudjing Kawi (National University of Singapore)

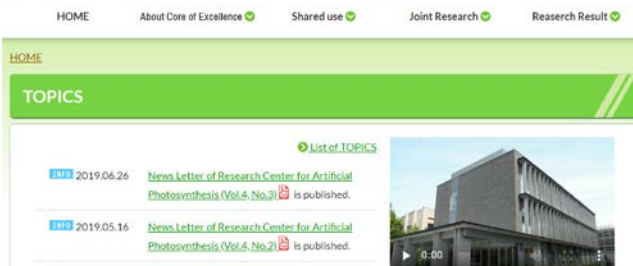
Professor Licheng Sun (KTH Royal Institute of Technology)

Professor Atsushi Urakawa (Delft University of Technology)

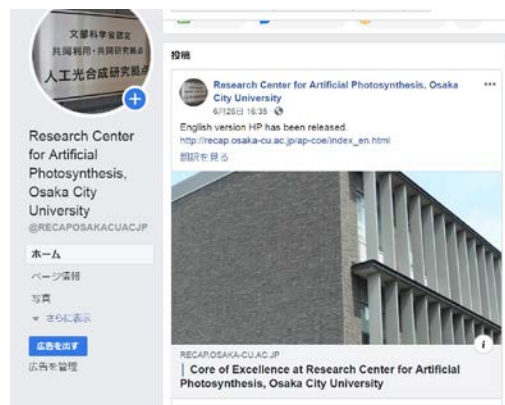
今回新たに加わった外国人拠点運営委員の専門分野は人工光合成研究に限らず、二酸化炭素の分子変換・多孔質材料・バイオマス利用など広義の意味での人工光合成につながる研究の第一人者です。今後の人工光合

成研究拠点での活動に対して適切なアドバイスを受けつつ国際的活動を推進していきます。

国際共同研究拠点としての機能強化活動として、4月から英語版ニュースレターの配信、ホームページの英語化([http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index\\_en.html](http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index_en.html))にも取り組んでいます。



加えて、拠点情報の SNS 発信に使用している Facebook も英語表記として海外からでも情報を得られるように取り組んでいます。ぜひ今後の国際的活動にもご期待ください。



<https://www.facebook.com/RECAPOSAKACUACJP/>

人工光合成研究拠点 ニュースレター

第4巻・第4号 2019年7月16日発行

発行責任者: 天尾 豊 (大阪府立大学人工光合成研究センター所長)

編集責任者: 吉田朋子 (同副所長)

<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>